



# 福高だより

平成24年4月25日  
第129号  
発行 福知山高校

## 今年の春 福高デビュー☆

4月10日(火)に平成24年度の入学式が挙行されました。

—今年度の入学生—

本校(普通科・文理科学科)

243名

三和分校(農業科・家政科)

19名



### 高校生活 はじめの一歩

今年も桜の季節がやってきました。262名の新入生が歴史と伝統ある福高の入学式に臨み、高校生活の新たなスタートを切りました。



## 先輩's Voice !!

### 私の高校生活&受験奮闘記

—平成24年3月の卒業生から、未来の福高生へのメッセージ—

#### オススメします!「みらい学」

文理科学科には、「みらい学」という授業があります。これは簡単に言うと研究活動です。1年生の間は大学教授の講義を聴き、研究というものを学びます。そして、2年生では個人やグループでテーマを設定し、研究活動を行います。研究は難しいものではありません。自分が疑問に思ったこと、興味のあるものを突き詰めるだけでいいのです。その方法は人それぞれですが、みんないきいきと取り組んでいます。私は、この「みらい学」という授業を通して研究の楽しさを知り、大学でも研究活動に取り組みたいと思うようになりました。また、「みらい学」で身に着けたプレゼンテーション能力が入試本番でも活かしました。

谷沢 駿(福知山市立六人部中学校出身) / 名古屋大学教育学部 合格

## これから夢を探すなら

私は中学生の頃、将来の進路についてはっきりとしたイメージはありませんでした。だからこそ、福知山高校に進学することに決めました。「可能性を広げたい！」というのが理由でした。高校在学中に将来進みたい進路が見つかったとき、どのような道でも目指すことができるように……。私の進路が決まったのは高校3年生の夏でしたが、中学3年生の自分の選択は間違っていなかったと確信しました。

受験は人生の中でもなかなか味わえない経験です。自分の欲する道のために、ひたすら一生懸命努力を重ねていくのは、なかなか気持ちの良いものです。皆さんが、周りの人たちの支えを心に留め、時折息抜きを忘れず、自分の目指す道を見据え励んでいくことを願います。

土井 昭穂(福知山市立成和中学校出身・美術部)  
千葉大学文学部 合格



## 遠距離通学のススメ -福高生の時間活用術-

舞鶴市からの入学生が僕1人だったということや、意識の高い人ばかりでついていけるかどうかということで入学当初は心配でした。しかし、入学して、改めて、大学受験を見据えて高校を選ぶ際に一番大事なことは、学校やクラスの雰囲気だということがわかりました。自分と同じように高い目標を持った人が身近にいるのとそうでないのとでは、かなり大きな違いがあります。

遠方からの電車通学についてですが、心配は要らないと思います。僕の場合は片道で45分程度かかりましたが、逆にこれくらいまとまった時間があると、勉強したり本を読んだりして、有効に活用することができました。家でしかできないこと、電車のなかでもできることを整理すれば、電車で過ごす時間を1日の学習時間のスケジュールに組み込むことができると思います。

舞鶴市に住んでいる僕にとって、福知山高校は遠距離通学となりましたが、時間をかけて通学するだけの価値があったと思います。これだけの刺激を受けることができる学校は少ないと思います。

中川 陽介(舞鶴市立青葉中学校出身)  
慶應義塾大学法学部 合格

## 福高の雰囲気

福高は、とても素晴らしい仲間が集まっていて、何に対しても「みんなで」「全力で」やる高校です。クラスみんなが集中して受ける授業の雰囲気は、ピンとしてかなりいいですよ。頑張るのは一人じゃないんです。みんなが頑張っていると、自然と辛い勉強へのやる気も出てくるのです。そして頑張っていると、先生方や友達、家族が応援してくれます。勉強は一人でするもので、実は一人でするものではありません。ですから、勉強に不安を持っている人も大丈夫、やる気さえあれば必ずやっていきます！

これは大学受験でも同じです。私はどれだけクラスの人や先生方にお世話になったかわかりません。また、家族なんて迷惑しかかけてないのに最後まで応援してくれました。受験に成功する人は、勉強ができるだけでなく、周囲への感謝を忘れない人なのではないかと感じました。

西邑 凧紗(福知山市立南陵中学校出身)  
神戸大学発達科学部 合格

## 福高の先生&仲間

先生方は、受験の知識を全て生徒に伝授していただき、生徒以上に生徒の進路について考えてくれましたし、親身になって相談にもものってくれました。そして、同じような目標をもつ仲間の存在は本当に大きいです。ほとんどの人が進学する福高では、大学進学という同じ目標をもつ同学年は共に戦っていく仲間である一方で、競い合うライバルです。勉強で理解できないことがあれば、先生に質問する前にそういった仲間と教え合うこともできますし、その教え合いが学力向上にもつながります。また、自分だけでなく頑張っている周りの人の姿がすぐ近くにあることで勇気づけられ、常に学習意欲をもつことができるといった精神的な支えにもなってくれます。このような仲間をつくることができるのは、福高が他の高校に優るところだと思います。

石原 壮希(福知山市立日新中学校出身・野球部)  
京都教育大学教育学部 合格

